

ー 使用評価マニュアル: CASBEE-新築 (簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	日産車体(株)新事務棟	階数	地上4F	
建設地	神奈川県平塚市堤町5番、6番1	- 構造	S造	
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	320 人	
気候区分	地域区分	年間使用時間	2,928 時間/年	
建物用途	事務所,	評価の段階	実施設計段階評価	11
竣工年	2013年8月 予定	評価の実施日	2013年5月15日	17
敷地面積	2,723 m²	作成者	株式会社フジタ	
建築面積	1,021 m²	確認日	2013年5月15日	THE PARTY
延床面積	3,988 m²	確認者	株式会社フジタ	Let West State Sta
2-1 建築物の)環境効率(BEEランク&チャート	2-2 ライフサイクルC	02(温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE =0.9	a: Bt: Bt: C:	30%: 60%:	80%: 100%: 100%超:	Q2 サービ ス性能
100 図 50 図 50 図 50	3.0 1.5 BEE=1.0 A B+ 0.9 0.5	標準計算 参照値 建築物の取組み 上記+ 以外の 上記+ 0 このグラフは、LR3中の「地	# 更新・解体 ロ 運用 ロ オンサイト ロ オフサイト 100% 87% 87% 87% 87% 80 120 160 (kg-CO ₂ /年・m²) は温暖化への配慮」の内容を、一般 ライフサイクルCO2 推出量の日安	Q1 室内環境 第
	環境負荷L	で示したものです _{(kg-CO₂/生}	F·m²)	マテリアル
)評価(パーチャート)			$Q \mathcal{O} X \mathcal{I} \mathcal{F} = 2.8$
Q 環境品質 Q1 室内環境		Q2 サービス性能		Q のスコア= 2.8 Q3 室外環境(敷地内)
	5	は29 ころ圧能		
~ · ± r 3 40 7.	Q1のスコア= 2.7		(J/(J/A - I F = 3.4	(J3() A J F = 2.3
5	Q1のスコア= 2.7	5	Q2のスコア= 3.2	Q3のスコア= 2.5
	Q1のスコア= 2.7	5 4	Q20) X J F = 3.2	
5 4 3 3.0 2 1	3.0	3 3.1	3.1	3 3.0 2.5
3 30 2 音環境	2.0 3.0 3.5 3.6 2.0 温熱環境 光·視環境 空気質環境	3 3.1		2 2 2 2 1 生物環境 まちなみ 地域性・
5 4 3 2 1 1 日環境	2.0 3.0 9.5 2.0 温熱環境 光·視環境 空気質環境	3 3.1 2 機能性	3.1 3.4 对応性	3 2 1 2 1 2.0 2.5 1 2.5 1 2.5 1 2.5 1 2.5 1 2.5 2.5 2.5 2.5 2.5 2.5 2.5 2.5 2.5 2.5
5 4 3 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2.0 3.0 9.5 2.0 温熱環境 光·視環境 空気質環境	4 3 2 1 機能性 LR2 資源・マテリ	3.1 3.4 对応性	20 生物環境 まちなみ 地域性・ 上R のスコア= 2.9 LR3 敷地外環境
5 4 3 2 1 1 3 3 0 1 1 日環境 LR 環境負荷化 LR1 エネル:	3.0 9.5 3.0	4 3 2 1 機能性 LR2 資源・マテリ	3.1 3.4 対応性 アル	5 4 3 2 1 2 2 2.0 2.5 1 2.0 2.5 1 2.9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
5 4 3 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	3.0 9.5 3.0	4 3 2 1 機能性 LR2 資源・マテリ	3.1 3.4 対応性 アル	20 生物環境 まちなみ 地域性・ 上R のスコア= 2.9 LR3 敷地外環境
5 4 3 2 1 1 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	3.0 温熱環境 光·視環境 空気質環境 氏減性 ギー LR1のスコア= 3.0	4 3 2 1 機能性 LR2 資源・マテリ	3.1 3.4 対応性 アル	5 4 3 2 1 2 2 2.0 2.5 1 2.5 1 2.9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
5 4 3 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	3.0 3.5 3.	4 3 3 3.1 1 機能性 LR2 資源・マテリ 5 4 3 2	3.1 3.4 対応性 対応性 アル LR2のスコア= 2.8	20 1 20 1 20 1 25 1 20 1 25 1 25 1 20 1 25 1 25 1 25 1 25 1 25 1 30 1 25 1 30 1 25 1 30 1 25 1 30 1 30 1 30 1 30 1 30 1 30 1 30 1 30
5 4 3 2 1 1 3 3 0 1 1 日環境 上R 環境負荷(上R1 エネル:	3.0 温熱環境 光·視環境 空気質環境 氏減性 ギー LR1のスコア= 3.0	4 3 2 1 機能性 LR2 資源・マテリ 5 4 3 2	3.1 3.4 対応性 アル LR2のスコア= 2.8	5 4 3 2 2 2.0 生物環境 まちなみ 地域性・ LR のスコア= 2.9 LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.0
5 4 3 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	3.0 3.5 3.5 3.5 3.0 3.	4 3 3 3.1 1 機能性 LR2 資源・マテリ 5 4 3 2	3.1 3.4 対応性 対応性 アル LR2のスコア= 2.8	1 2 1 2 2 2.0 1 生物環境 まちなみ 地域性・ LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.0 5 4 3 2 1 地球温暖化 地域環境 周辺環境
5 4 3 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	3.0 3.5 3.5 3.5 3.0 3.	4 3 3 3.1 1 機能性 LR2 資源・マテリ 5 4 3 2	3.1 3.4 対応性 対応性 対応性 対応性 対応性	2 1 2 2 1 2 2 2 1 2 2 2 3 3 3 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 4 5 6 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8

LR1 エネルギー ・高効率機器を採用している。

・建築材料は、70%以上でF を使用している。 ・喫煙室を設置し、非喫煙者が煙にさらされないように対 策をされている。 ・機工・ナーなどのリフレッシュスペースを 設置している。 ・給水管D(20年以上)、排水管→B(40年以上)、通

る。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

気管→A(60年以上)の耐用年数の管材使用している。

・節水型FVに加え自動水栓等を使用し、節水に努めてい

LR3 敷地外環境 ・駐車スペースを確保している。